

## 「制度運用の詳細が定まっていない」 「新たな区で統廃合や校区再編の可能性」

東住吉区は区のホームページに「学校教育行政についての意見交換会」学校選択制と指定外就学」を開催し、「和田区長の方針（案）」を説明することを明らかにしました（1月23日付）。

区長は、学校選択制について、課題として「○選択した学校への付き添いなど保護者の負担が増える（自転車通学禁止）、○通学区域以外の学校を選択した家庭と地域とのつながりが薄くな

東住吉区の2012年7月のアンケート

|     | 賛成                     | 反対                           |
|-----|------------------------|------------------------------|
| 小学校 | 35%                    | 46%                          |
| 中学校 | 47%                    | 35%                          |
| 理由  | 特色のある学校を選択できる。近い学校がある。 | 通学の安全性不安（小学校）。序列化が進む恐れ（中学校）。 |

るかも、○受入人数を超えた場合、希望通り就学できるとは限らない（1学級分の増加を上限）をあげたうえで、「賛成。ただし、現時点では学校選択制を導入しない。」としました。理由は、「○自由度の高い制度だが制度の詳細が定まっていない。○現在検討中の新たな区が実現されれば、学校の統廃合や校区の再編が行われる可能性がある。○将来的に、中学校入学時には導入したい。（小学校入学時の導入には反対。本人の意思による学校選択が望めないため）」。

### 指定外就学基準拡大

そして、「学校選択制を導入しないかわりに：指定外就学の基準の拡大 指定校より近い場合（毎年4月）を導入したい。『部活動』は導入せず。指定外就学以外の方法で取り組みを検討すべき。ただし、『通学の距離』を制度的に導入しても、運用上、実際に希望する学校が受入できるとは確約できない」としています。

東成区は1月28日付ホームページで2013年度は学校協会の設置、土曜授業等多くの改革、中学校給食の課題などがあり、2014年度からの導入では期間的に余裕がないとして、学校選択制の導入は2015年4月入学の児童生徒からとした。

### 反対、懸念の声反映 強行すべきではない

学校選択制に不安や疑問、懸念や批判、「問題あり」、「実施は慎重に」の声が引き続き広がり、区長案においても「課題」を上げざるを得ず、制度に賛成であっても導入できなくなっています。この間の取り組み、反対の声の広がりへの反映です。強行すれば4月から学校、地域が混乱することを東成区も認めました。学校選択制反対の声を地域で広げ、区長に強行しないよう求めましょう。



### 市民 交流集会

## 学力テスト結果公表・学校選択制反対 教育破壊・地域破壊への取り組み広がる

学力テスト結果公表・学校選択制反対をかかげ、大阪市教、府民会議、2条例連絡会が1月23日に開催した市民交流集会で、教育破壊・地域破壊への町会長の懸念の声（別項）が紹介され、地域の取り組みが広がっていることへの確信が広がりました。

昨年末に淀川区が隣接学校選択制を提案しました。淀川区では、大阪市教の号外を5千枚折り込みし、連合振興町会長を訪問し対話を広げました。

住吉区では、市立幼稚園民営化反対で保護者らが区との話し合い、市議員、町会にも働きかけをしています。大正区では2月1日女性団体が学校選択制で区長と懇談し反対を訴えました。西成区では学校選択制の街頭宣伝が行われ、就学前教育の懇談会、西成特区構想を考えるつどいも開かれました。

2月は区の就学制度の方針案を策定する時期です。取り組みを強めましょう。

### 町会長 地域が壊されると苦慮

- 幼い子どもたちの責任をだれが負うのか。
- 学校選択制はとんでもないと町会、区政会議で話し合っている。
- 地域には今まで積み上げてきたものがある。それを壊したくないという思いが強い。
- 校長公募はもってのほか。